授　業 科目名	【Ｇ】 ―――― 【Ｈ】 ―――― 【Ｉ】 教養導入ゼミ	区分 必 履 修	開講年次	【Ｇ】－ 【Ｈ】－ 【Ｉ】1	単位数	【Ｇ】－ 【Ｈ】－ 【Ｉ】2
科目区分	基本科目					
授業形態	対面開講					
担当形態	単　独					
施行規則に定める科目区分又は事項等						
サブ タイトル	大学生として必要な思考力・創造力を身に付ける		担当者	酒本　夏輝		

授業概要	【概要】	大学生としての学習の基礎づくりを目標として、必要なスキル等を身につける。 特に、自ら考え・行動するための基礎知識及び思考力の養成を目的とする。 中でもグループワーク、グループディスカッション等を通して、自らの考えを発信する力（言語化スキル）を養い、他者の考えを尊重し、互いの意見を交換する中で様々な価値観の創造（多様性の学び）を目標とする。
	【到達目標】	大学生としての学習に必要な様々なスキル等を身に付け、実生活において活用できるようになること。 現代社会が抱える課題等に関心を持ち、情報化と多様化の観点から問題意識を養うこと。 現代社会が抱える問題点の解決に対し、自ら考え、創造し、行動する力を養うこと。
履修条件	特になし。 ただし、履修の前提条件として、積極的な授業参加を目指し、主体的に学習をしようとする者。グループワーク等にも意欲的に参加しようとする者。	

アクティブラーニングの方法								
	【 － 】	事前学習型	【 － 】	反転授業	【 ○ 】	調査学習	【 － 】	フィールドワーク
	【 ○ 】	双方向アンケート	【 ○ 】	グループワーク	【 ○ 】	対話・議論型授業	【 － 】	ロールプレイ
	【 ○ 】	プレゼンテーション	【 － 】	模擬授業	【 － 】	PBL	【 ○ 】	その他

ディプロマ・ポリシーとの関連性		
	DP（ディプロマ・ポリシー）①	－ （当てはまらない）
	DP（ディプロマ・ポリシー）②	◎ （よく当てはまる）
	DP（ディプロマ・ポリシー）③	◎ （よく当てはまる）
	DP（ディプロマ・ポリシー）④	－ （当てはまらない）

他科目との関連性	本演習で基礎・基本を構築し、教養演習へと繋げていく。
教科書	必要に応じて資料等を配布する。
参考書	特になし
評価方法	授業への参加度、授業内課題（60%）、課題やレポートなど（40%）を総合的に評価する。
フィードバック方法	授業内課題やレポートに対し、演習の中でフィードバックを行う。 また、適宜質疑応答を行う。
評価基準	授業に積極的に参加して、学習した内容をよく理解し、課題を達成できた者にはその程度により「S」または「A」、不足がある場合にはその程度により「B」または「C」とする。参加度や達成度が著しく低い者はその程度により「D」または「E」、全く参加しないなど判定不能な者は「F」とする。

授　業 科目名	【Ｇ】 ―――― 【Ｈ】 ―――― 【Ｉ】 教養導入ゼミ	区分 必 履 修	開講年次	【Ｇ】－ 【Ｈ】－ 【Ｉ】1	単位数	【Ｇ】－ 【Ｈ】－ 【Ｉ】2
授業内容	＜Ⅰ．教養導入ゼミ　オープニング（第1回～第3回）＞【AL】 1．オリエンテーション （1）「教養導入ゼミ」とは （2）仲間をつくる（自己紹介） （3）グループワーク ＜Ⅱ．これまでの人生を振り返り、将来設計に繋げる（第4回～第5回＞【AL】 （1）ライフラインチャートによる現状把握 （2）今後の将来設計についてディスカッション ＜Ⅲ．大学生活における目標設定（第6回～第7回＞【AL】 （1）目標達成シートによる目標設定 （3）目標に対するアプローチ方法 （4）時間の活用方法 ＜Ⅳ．大学生の生活習慣と健康（第8回～第9回）＞【AL】 （1）大学生の生活習慣と健康 （2）睡眠と健康 （3）栄養と健康 （4）グループディスカッション ＜Ⅴ．創造力、表現力、を学ぶ読書トレーニング（第10回～第12回）【AL】 （1）図書館の使い方 （2）本の探し方 （3）読書レポートの作成 （4）読書のススメ（推薦図書） ＜Ⅵ．現代社会における課題と解決（第13回～第14回）＞【AL】 （1）現代社会における課題の抽出 （2）課題を表現したコンテンツの視聴 （3）課題解決に向けた施策の検討 ＜Ⅶ．振り返り（第15回）＞ （1）クラス担当教員と半期の授業を振り返る。 （2）大学1年生で獲得したスキル、今後の課題についてフィードバックを行う。					
予習内容	・授業中に与えられた課題について、資料等を検索しまとめる。 ・授業毎の予習時間は、90分程度を目安としてください。					
復習内容	・授業中に解説された内容について振り返り、ノート等にまとめる。 ・授業毎の復習時間は、90分程度を目安としてください。					
その他	・演習主体の科目であるため、授業を休まずかつ遅刻せずに出席して積極的に取り組むこと。 ・受講者の興味・関心に合わせて授業内容を一部変更する場合がある。 ・授業に対する質問等がある場合は、n.sakemoto@seiwa-univ.ac.jpまで連絡すること。 ※Iカリ：【必履修（○お）】					